

胡蘆巴

〔延喜式内藏〕十五諸國年料供進

藝陵香大廿四斤卅把淡路國卅把阿波國廿四斤

〔多識編二〕臨草胡蘆巴、和名幾波知須、今按南蠻大根、

〔物類品隲三〕胡蘆巴 葉苜蓿ニ似テ大花、白シテ微黄色ヲ帶ブ、實莢ヲ結ブ、禹錫蘇頌輩、蠻國蘿蔔

子トスルモノハ誤ナリ、此物、和産ナシ、蠻種、享保中種子ヲ傳テ、官園ニ植、

〔重修本草綱目啓蒙十〕臨草胡蘆巴 一名腎曹都尉藥譜 腎曹都護職耕 胡巴萬病回春

世人禹錫ノ番蘿蔔子ト云語ニ據テ、南蠻大根ノ實ト訓ズルハ非ナリ、蘿蔔ノ類ニ非ズ、舶來ノモ

ノ眞物ナリ、享保年中唐種ヲ傳テ、今ハ多ク栽ユ、春秋下種ス、苗高サ一尺許、或ハ三四尺、葉ハ一蒂

三葉ニシテ、苜蓿葉ニ似テ微窄シ、互生ス、夏葉間ニ一花ヲ開ク、小ニシテ白色、未ダ開ザル時ハ微

シク黄色ヲ帶ブ、形胡枝子ノ花ニ類ス、花後細莢ヲ結ブ、長サ二三寸、内ニ小扁子アリ、ソノ形色舶

來ノ者ト同ジ、初微ク青シ、年ヲ經レバ淡黃褐色、大サ一分ニ過ズ、莢熟ズレバ根枯ル、莖柔弱莢ヲ

結ベバタラレヤスシ、

〔草木育種後編下品〕ころは胡蘆巴草 和蘭にてヘーチギリイキといふ、享保年間、漢種來る、春分に實を

布きてよし、一枝三葉五瓣の黄花を開く、後莢を結ぶ、蒔く前に圃に糞汁を澆ぎおくべし、生長し

て米泔水肥水を澆ぎてよし、

〔倭名類聚抄二十〕狼牙 陶隱居本草注云、狼牙一名犬牙和名古末 根牙似獸牙齒、故以名之、

〔撮壤集中〕狼牙コツナキ 駒繫同

〔饅頭屋本節用集古〕狼牙コツナキ

〔書言字考節用集六〕狼牙コツナキ 本草、苗似蛇莓、金剛草同 犬牙草 又支 蘭

〔和漢三才圖會九十五〕狼牙略 和名古末豆

狼牙